

# りそな 経済フラッシュ

## (日本11月機械受注)

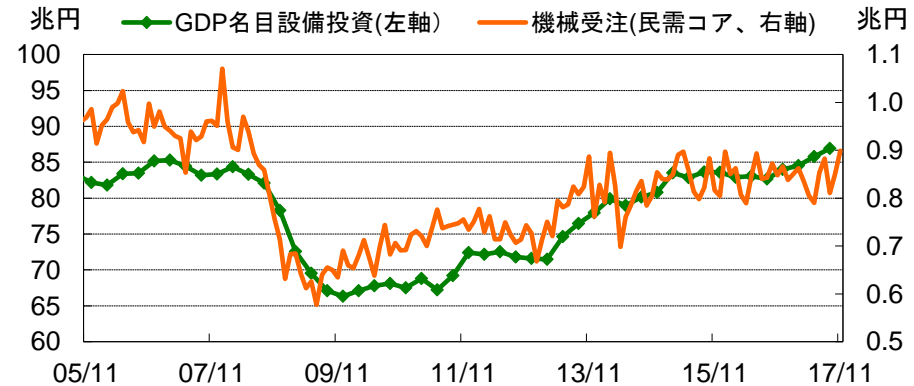


### 〇概況

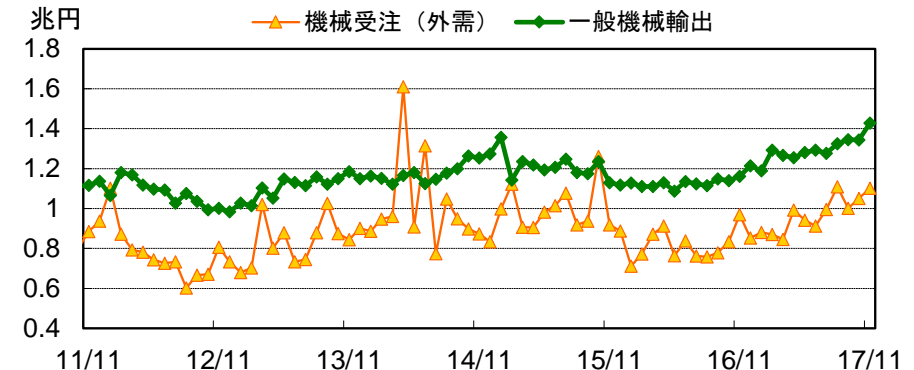
- ◆ 11月機械受注、船舶・電力を除く民需コアの受注は前月比+5.7%
- ◆ 非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需が増加した一方、製造業は減少
- ◆ 内閣府は受注判断を「持ち直しの動きがみられる」と据え置き

- ✓ 11月の機械受注によると、船舶・電力を除く民間（民需コア）からの受注額は前月比+5.7%の8,992億円と、市場予想（▲1.4%）を上回った(10月+5.0%の8,509億円)。
- ✓ 内閣府は受注判断を、「持ち直しの動きがみられる」と据え置き。尚、9月末時点の民需コア10-12月期の受注見通しでは▲3.5%と減少が見込まれている(7-9月期+4.7%)。11月の受注総額は前月比+11.8%の2兆7,411億円(10月+5.6%の2兆4,509億円)。
- ✓ 製造業は▲0.2%の4,206億円(10月+7.4%の4,213億円)と減少。業種別では17業種中10業種が減少。化学工業、石油製品・石炭製品、窯業・土石製品などが減少。
- ✓ 非製造業（船舶・電力を除く）は+9.8%の4,808億円(10月+1.1%の4,377億円)と増加。業種別では12業種中7業種が増加。電力業、卸売業・小売業、リース業などが増加。
- ✓ 官公需は+1.5%の2,508億円(10月+13.2%の2,470億円)と増加。防衛省、その他官公需が増加。
- ✓ 外需は+4.9%の1兆1,026億円(10月+4.9%の1兆508億円)と増加。原動機、電子・通信機械が増加。
- ✓ 代理店経由は+4.7%の1,252億円(10月▲0.2%の1,195億円)と増加。道路車両、産業機械が増加。

### 【機械受注（民需コア）とGDP名目設備投資】



### 【外需と一般機械輸出】



【出所】IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。